

姫路市御立北山の蝶

苦 木 隆 幸

我々の会では、年間の行事のひとつに採集会を計画している。日頃各方面で忙しく活動している会員が自然の山野で目的を同じくして腕を競うのも有意義なことであろうと企画された。

又この行事を通して最も大きな産物として得られるのが正確な分布の実態であろう。

その時期、その場所に、何種類の蝶が正確に分布しているかが把握でき、郷土の分布を足で調べることができるのである。

今回の第一回目は兵庫県の屋根と言われる氷ノ山周辺を計画していたのであるが、当日天候に恵ぐまれず心ならずも採集地の変更を余儀なくされ「近郊の姫路市御立の山麓で午後の短い時間ではあるが行った。

夕立ちまじりの雨が時折り降り草木の葉はべたべたに水をふくみ、ネットから水がほとばしるような最悪の条件であったが、PM1:30~3:30の2時間、定められた時間を有効に活用して右に左に敏腕をふるった。

採集地を御立に選んだ理由としてキマダラルリツバメの採集の可能性が大きかったからである。

北側には書写のゴルフ場があり更に北の谷にはキマダラルリツバメが発生する。今日では地元の蝶仲間には知れわたった産地であるが、数年前に会員の尾崎氏・川崎氏が探求発見したところである。

その山続きで地形上からも可能性大であると判断、キマダラルリツバメを目玉に谷川沿いを探したが蝶の姿は見ることはできなかった。でも環境としては申し分なく、何度かアタックすることで発見が期行できる。PM3:30に終了しネットに入った種類は以下の通りである。

- (1) アゲハ
- (2) キアゲハ
- (3) ルリタテハ
- (4) キタテハ
- (5) イチモンジチョウ
- (6) ヒメアカタテハ
- (7) オオウラギンスジヒョウモン
- (8) モンシロチョウ
- (9) キチョウ
- (10) ペニシジミ

- (11) ヤマトシジミ
- (12) ツバメシジミ
- (13) ミドリシジミ
- (14) ルリシジミ
- (15) キマダラセセリ
- (16) オオチャバネセセリ
- (17) ホソバセセリ
- (18) イチモンジセセリ
- (19) ジャノメチョウ
- (20) ヒメジャノメ
- (21) ヒメウラナミジャノメ
- (22) ヒカゲチョウ

以上22種類を確認することができた。採集日はいずれも1979年7月1日である。

〈TAKAYUKI NIGAKI〉〒675-15 姫路市

ツマグロヒョウモンの
越冬と温度について

広 畑 政 己

兵庫県下では土着していないと考えられていた本種も、ここ数年の調査の結果、少なくとも1978年と1979年の2年間は福崎町新にて越冬し、春から晩秋にかけて多数の個体が生息していることを確認した。

これまで福崎町には気象観測所がなく、本種の越冬については姫路市の気温を参考に「ひろおび」No.4などで述べてきたが、1979年1月から同地に観測所が設置され、正確なデータが得られたので、どのような気温で越冬したかを報告した次第である。

越冬地の1月2月の気温は表の通り0℃以下の日数が期間中の約半数あり、平均気温も5℃以下で、推測をはるかに下まわる温度で越冬していた。

この記録をみる限りでは、温度以外の諸条件が満たされれば、これまで考えられている土着の北限が全国的にみてもかなり広がるのではないと思われる。

表、越冬地の冬期気温 (1979年1月~2月)

地名	最高平均気温	最低平均気温	平均気温	最低極値	0℃以下の日数 (1月+2月)
福崎町	10.5℃	0.0℃	4.8℃	-5.7℃	28

参 考 文 献

神戸海洋気象台(1979) 兵庫県気象月報No.495~497